

# 気仙沼市まち・ひと・しごと創生「人口ビジョン」「総合戦略」骨子

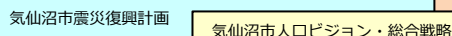
## 趣旨・位置づけ

### 気仙沼市の地方創生の位置づけ

- 東日本大震災からの創造的復興の達成
  - ・地域の社会課題の解決なくして、真の復興なし
- 市総合計画における本市の目標の実現
  - ・世界に羽ばたく産業のまち
  - ・日本で一番住みたいまち

総合戦略は、市総合計画に含まれ、総合計画の目標を推進

### 気仙沼市総合計画



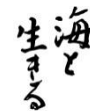
- 人口ビジョン 2040(H25)年までの人口の将来展望と目指すべき将来の方向
- 総合戦略 2015(H27)年～2019(H31)年に講ずべき施策に関する基本的方向

## 人口の現状分析

- 全般**
  - ・1980(S55)年の92,246人をピークに減少（国勢調査ベース）
  - ・住民基本台帳ベースでは、1983(S58)年に減少に転じる
  - ・老年人口は、1995(H7)年に年少人口の割合を超過。増加を続ける老年人口も、2020(H32)をピークに減少に転じる予想
  - ・2015(H27)年8月末住民基本台帳人口66,991人（ピークの73%）
- 自然増減・出生数の推移**
  - ・出生数の減少、死亡数の増加により2001(H13)年に自然減に転じ以降は減少の幅が拡大
  - ・近年の出生数は400人程度、死亡者数は900人程度
- 合計特殊出生率**
  - ・2013(H25)年時点で1.41と全国平均と同水準
  - ・2000(H12)年以降は1.4～1.5程度で推移
- 未婚割合**
  - ・2010(H22)年時点で、男性30～34歳の約50%、35～39歳の約38%が未婚で、国・県平均を2～7ポイント上回る
- 社会増減の推移**
  - ・1970(S45)年以降、1978(S53)年以外のすべての年で転出超過
  - ・平成に入ってから、300～1,000人の転出超過
  - ・転出先・転入元とも、県内は仙台市、県外は岩手県、東京都が多い
- 年齢階級別人口移動の推移**
  - ・15～24歳の転出超過の割合が突出
  - ・1歳階級別では、18歳はすべてマイナス
  - ・2010(H22)～2015(H27)の各18歳時の減少率は22～30%
- 東日本大震災の影響**
  - ・2011(H23)の人口動態は△4,198(自然△1,800、社会△2,398)
- 就業人口の推移等**
  - ・2010(H22)年 32,519人(1990(H2)年比△11,903人、△26.8%)
  - ・女性就業率は、2000(H12)年以降、約60%で横ばい
  - ・昼夜間人口比率は、1990(H2)年以降、100%前後で横ばい

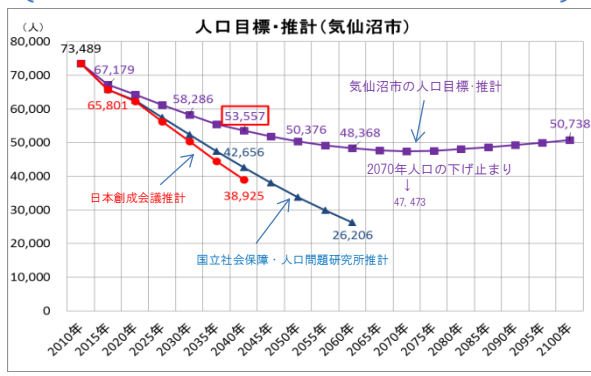
## 人口ビジョン(2040年の遠方目標)

- 「世界に羽ばたく産業のまち」  
～「しごと」創出と「ひと」の流れ～  
◎持続発展可能な産業の振興と市民の経済的安定
- 「日本で一番住みたいまち」  
～暮らしやすさと「まち」の魅力～  
◎幸福感を感じて暮らし、誇りを持てる故郷づくり  
◎安全・安心なまちと自立した地域づくり



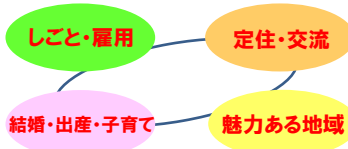
### 【2040年の人口目標】

- 目標人口 5万3,500人
- 〔合計特殊出生率が2030年に1.90、2040年に2.20に達する人口移動が2035年まで毎年100人、2036年以降毎年200人増〕



## 人口減少問題に対する基本認識、基本的視点

- 1980(S55)年をピークに人口は減少し続け、東日本大震災が追い打ちをかける。主力産業の漁業・水産業は、国際競争力の激化や全国的な魚離れなどにより産業規模が連続的に減少。この実情を踏まえ、今、まさに人口問題を最重要課題と捉え、取組を加速すべき時
- 子どもを産み育てやすい環境を整え、子育て世代が希望する子どもの数を産めるようにする → 出生率の向上
  - 雇用の場を増やし、若い世代を中心に、帰郷できる環境を整える移住定住策により都市部からのUターン者流入を増やす  
高校新卒者市内就職促進による流出減 → 社会増を達成
  - 気仙沼を離れていても、様々な形で繋がっていることを重視
  - 交流人口の増大、長期滞在者・二地域居住者創出(第二市民構想)
  - 自然・文化・地域のつながり、人と人のつながり、田舎でスローに生きる価値観、産業における国際展開 → 幸福度の向上



同時並行  
相乗的展開  
発信

## 総合戦略(2015～2019年度の政策目標・施策)

人口ビジョンを踏まえた、政策目標や施策の基本的方向、具体的な施策をまとめたもの

将来都市像

地方にある「世界の港町」  
☆世界に羽ばたく産業のまち  
☆日本で一番住みたいまち

## 基本目標・具体的施策

- 育成・誘致により産業を振興し、「安定した雇用」「新たな雇用」を創出する  
**気仙沼で働く**
  - ① 基幹産業の進化
  - ② 起業しやすい環境・新産業への挑戦
  - ③ 企業や教育・研究機関等の誘致
  - ④ 人材育成、雇用確保
- 人と自然が共生するまちをつくり、気仙沼ファンを育て、本市への新しい人の流れをつくる

### 気仙沼に住まう・集う

- ① Uターン等受入れ体制整備、第二市民積極的受入れ
- ② 交流人口の拡大、戦略的プロモーション
- ③ 市外避難者等の帰郷支援
- やさしさと安心に満ちた暮らしを実現し、若い世代の結婚、出産、子育ての希望をかなえる

### 気仙沼で産む・育む・見守る

- ① 未婚対策・出産支援・子育て支援
- ② 健康長寿社会の形成
- 協働と参加による自立した社会をつくり、安心で豊かなくらしを大切にす風土と心を育む

### 気仙沼で暮らす・学ぶ

- ① 持続可能なコミュニティの維持
- ② 気仙沼らしさ・スローライフの推進
- ③ 環境負荷の少ない社会の構築
- ④ 安全・安心なまちの実現
- ⑤ ふるさと教育の実践

## PDCAサイクルと評価指標

- ・PDCAサイクルによる継続的な改善 ⇒ 施策の実効性の確保
- ・数値目標、KPI（重要業績評価指標）による成果の測定
- ・個人・団体等が役割と目標を自覚し、協働

## 推進と検証

- ・計画策定に関わった「けせんぬま創生戦略会議」による検証
- ・今後とも、多様な市民の参加による活発・多彩な議論を行う
- ・地方創生のスタート戦略 ⇒ 各種状況勘案し、見直しを重ねる